

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当地区において、連合自治会や地区社協をはじめとした地域活動がコロナ禍で停滞している状況が続いています。その中で新しい生活様式による感染症対策や地域事業の工夫を行いながら、地域活動の再開や縮小しながらも継続をしている状況です。地域福祉保健活動への意識は元々高く地域活動も活発であったため、今後も感染症対策や、形を変えた事業展開の支援を行っていく必要があります。

第4期地域福祉保健計画においても、第3期の振り返りを行いながら、地域ケアプラザ・区社協・区役所と連携して策定の支援をしていきます。

主な地域課題については、地域の担い手の高齢化や後継者不足が挙げられます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

— 具体的な取組内容 —

■ 未就園児保護者向け「ちびっこルーム」、60代向け「ニューAgeカフェ」など、コロナ禍において孤立しがちな地域住民が身近な場所で関係性がつながるための講座やイベントを開催します。

■ ・通いの場の担い手を対象とした情報交換の機会を提供します。その際には3密を回避した方法で実施します。
・元気づくり情報紙「だれみな通信」を活用して、健康づくりに取り組む地域団体の活動を支援します。

■ 認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように、地域活動団体(地域サロンや自治会)とともに認知症当事者や家族を支える取組みや連携方法について検討を進めます。

■ 『横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた瀬谷区アクションプラン』の改定に向けて、「介護予防」、「在宅介護・医療連携」、「認知症対策」、「生活支援」の各分野の策定部会へ参画し、区役所や区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザとともに令和2年度に行った振りかえりを踏まえて次期指針(アクションプラン)策定を進めます。

■ 居宅介護支援事業所の管理者・主任ケアマネジャーを構成メンバーとした「ニッ橋地域ケアプラザ 主任ケアマネジャー等連絡会」において、主任ケアマネジャー自身が互いに協議・検討を行いながら、自ら課題解決できるようサポートします。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

コロナ禍により地域活動が停滞する中、地域活動や地域ケアプラザ事業において、感染症対策を行った上で、地域活動の支援や啓発、事業などを実施しました。地域の皆様に対して、地域活動が開催できる方法の助言や支援を行い、他の地区の工夫などの情報提供を行いました。介護予防のため、『だれみな通信』の発行や活用を行い、地域の介護予防の担い手が自ら啓発できるよう人材育成を行いました。居宅介護支援事業所の管理者や主任ケアマネジャーと協議、検討を重ねて、主任ケアマネジャー同士のネットワークを強化しました。そして、事業所の垣根を越えた地域のケアマネジャー支援を行う新たな基盤づくりを進めています。当施設の30周年記念事業の開催を行い、地域に広く地域ケアプラザや活動団体の情報発信が行えました。

区からのコメント

依然として新型コロナの影響は続いており、引き続き、新しい生活様式を念頭に置いた地域活動の支援が必要になります。ケアプラザ職員だけでなく、地域の担い手への普及啓発も進めていただき、地域活動が活性化できるような支援をお願いします。介護予防の取組については、コロナ禍が続き、家に閉じこもりがちな高齢者の方が増えている状況もあるため、今回作成した『だれみな通信』も活用して、地域活動の担い手育成や地域での幅広い啓発を進めていただきたいと思います。また、居宅介護支援事業所管理者及び主任ケアマネジャーと課題解決に向けて検討し、講座や研修を開催するなど、ネットワークや支援の強化に熱心に取り組んでいます。引き続き、地域包括ケアシステム構築の中核的な機関として、また誰もが気軽に頼れる福祉保健の拠点として、関係機関や地域の関係者等と連携を図り、地域の特色を活かしながら取組を進めていただくようお願いします。

令和3年度 横浜市ニツ橋地域ケアプラザ事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組 計画	<p>1 地域ケアプラザは横浜市の指定管理施設であることを認識し、地域住民、団体、事業所等に対して公正・中立な立場で業務を行います。</p> <p>2 地域包括支援センター等で「事業所の選択」に係る相談等を受けた場合は相談者の意思を尊重し、原則として事業所の一覧を提示する等、複数の選択肢があることを相談者が知る機会を設けます。</p> <p>3 介護保険サービス事業所等に対しても事業者や利用者に対して不利益にならないよう幅広い情報提供を行います。</p>	<p>1 年度の初めの職員全体研修にて、コンプライアンス研修、個人情報保護研修を実施し、地域の方々や事業所等との信頼関係を重視した施設作りを努めます。</p> <p>2 苦情受付体制やご意見箱の設置により利用者本位の組織作りに努めます。</p>
実績	<p>1 地域住民、団体、事業所等に対して横浜市の指定管理施設として公正・中立な立場で業務を行いました。</p> <p>2 地域包括支援センター等で「事業所の選択」に係る相談等を受けた場合は相談者の意思を尊重し、ホームページやケアマネ事業所空き情報一覧などを提示し、複数の選択肢があることを相談者理解し相談に応じました。</p> <p>3 介護保険サービス事業所等に対しても事業者や利用者に対して不利益にならないよう幅広い情報提供を行いました。</p>	<p>1 5月の職員全体研修にて、コンプライアンス研修、個人情報保護研修を実施し、地域の方々や事業所等との信頼関係を重視した施設となるように、職員の意識啓発を図りました。</p> <p>2 苦情受付体制やご意見箱の設置により利用者本位の組織作りに努めました。朝礼、夕礼において、ヒヤリハットや事故等の情報共有を行い、再発防止に努めました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>1 利用者本人の役割や強み、達成可能な目標設定を意識したケアプランを作成します。</p> <p>2 ケアマネジャーが地域とのつながりやインフォーマルサービスを意識した介護予防プランを作成します。</p>	<p>1 住み慣れた地域で自立した日常生活ができることを目標に居宅サービス計画を作成します。</p> <p>2 医療機関、介護保険事業所、地域資源等と連携を図り、多様な事業者から効率的にサービスが提供されるように調整し、常にご利用者の立場で公正中立な居宅サービス計画を作成します。</p>
職員 体制	<p>主任ケアマネジャー(管理者)1名(常勤兼務) 看護師 1名(常勤兼務) 社会福祉士 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 2名 (非常勤専従1名、非常勤兼務1名)</p>	<p>管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員4名 (常勤兼務1名、非常勤専従2名、非常勤兼務1名)</p>
契約 者数	209名	100名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)																																																																																												
目標	<p>1 利用されるお一人お一人の生き方を大切にし、その人らしく生き活きと健やかに過ごせるようにサービスを提供いたします。</p> <p>2 家族に対しても、介護疲れの軽減をはじめ、介護技術や介護上の相談ができる、安心して身近な窓口となるよう心がけます。</p> <p>3 地域に開かれた施設として、ボランティア活動の受け入れを積極的に行い交流を広げていきます。また、各部門や他機関との協力・連携を図り、職員一人ひとりが専門職として地域社会の資源となるように努めます。</p> <p>4 デイサービスが利用者の在宅生活を支える担い手の1つとなるよう、身体・精神・環境等、あらゆる面における状況の的確な把握に努めます。「専門職としての知識」と「思いやり」をもって、利用者が必要としていることは何かを正しく理解し受け止め、実現に向けて行動いたします。</p>																																																																																														
実施体制	<p>【実施日数】 359日(年末年始6日間休み)</p> <p>【提供時間】 10:15～15:20</p> <p>【定員】 31名</p>	<p>【実施日数】</p> <p>【提供時間】</p> <p>【定員】</p>	<p>【実施日数】</p> <p>【提供時間】</p> <p>【定員】</p>																																																																																												
利用料金・実費負担	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(1割負担)</th> <th>(2割負担)</th> <th>(3割負担)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>《要介護1》</td> <td>608円</td> <td>1,216円</td> <td>1,824円</td> </tr> <tr> <td>《要介護2》</td> <td>719円</td> <td>1,437円</td> <td>2,155円</td> </tr> <tr> <td>《要介護3》</td> <td>829円</td> <td>1,658円</td> <td>2,468円</td> </tr> <tr> <td>《要介護4》</td> <td>939円</td> <td>1,878円</td> <td>2,817円</td> </tr> <tr> <td>《要介護5》</td> <td>1,050円</td> <td>2,099円</td> <td>3,149円</td> </tr> <tr> <td>加算額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>《入浴》</td> <td>43円</td> <td>86円</td> <td>129円</td> </tr> <tr> <td>《個別機能訓練加算Ⅰⅴ》</td> <td>60円</td> <td>120円</td> <td>180円</td> </tr> <tr> <td>《体制強化Ⅲ》</td> <td>7円</td> <td>13円</td> <td>20円</td> </tr> <tr> <td>《介護職員処遇改善加算Ⅰ》 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》 所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <th>(1割負担)</th> <th>(2割負担)</th> <th>(3割負担)</th> </tr> <tr> <td>《要支援1》</td> <td>1,793円</td> <td>3,585円</td> <td>5,377円</td> </tr> <tr> <td>(要支援2/週1回程度)</td> <td>1,793円</td> <td>3,585円</td> <td>5,377円</td> </tr> <tr> <td>《要支援2》</td> <td>3,675円</td> <td>7,350円</td> <td>11,025円</td> </tr> <tr> <td>加算額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>《運動器機能向上加算》</td> <td>242円</td> <td>483円</td> <td>724円</td> </tr> <tr> <td>《体制強化》</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(要支援1)</td> <td>26円</td> <td>52円</td> <td>78円</td> </tr> <tr> <td>(要支援2/週1回程度)</td> <td>26円</td> <td>52円</td> <td>78円</td> </tr> <tr> <td>《介護職員処遇改善加算Ⅰ》 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》 所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		(1割負担)	(2割負担)	(3割負担)	《要介護1》	608円	1,216円	1,824円	《要介護2》	719円	1,437円	2,155円	《要介護3》	829円	1,658円	2,468円	《要介護4》	939円	1,878円	2,817円	《要介護5》	1,050円	2,099円	3,149円	加算額				《入浴》	43円	86円	129円	《個別機能訓練加算Ⅰⅴ》	60円	120円	180円	《体制強化Ⅲ》	7円	13円	20円	《介護職員処遇改善加算Ⅰ》 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算				《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》 所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算					(1割負担)	(2割負担)	(3割負担)	《要支援1》	1,793円	3,585円	5,377円	(要支援2/週1回程度)	1,793円	3,585円	5,377円	《要支援2》	3,675円	7,350円	11,025円	加算額				《運動器機能向上加算》	242円	483円	724円	《体制強化》				(要支援1)	26円	52円	78円	(要支援2/週1回程度)	26円	52円	78円	《介護職員処遇改善加算Ⅰ》 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算				《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》 所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算					
	(1割負担)	(2割負担)	(3割負担)																																																																																												
《要介護1》	608円	1,216円	1,824円																																																																																												
《要介護2》	719円	1,437円	2,155円																																																																																												
《要介護3》	829円	1,658円	2,468円																																																																																												
《要介護4》	939円	1,878円	2,817円																																																																																												
《要介護5》	1,050円	2,099円	3,149円																																																																																												
加算額																																																																																															
《入浴》	43円	86円	129円																																																																																												
《個別機能訓練加算Ⅰⅴ》	60円	120円	180円																																																																																												
《体制強化Ⅲ》	7円	13円	20円																																																																																												
《介護職員処遇改善加算Ⅰ》 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算																																																																																															
《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》 所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算																																																																																															
	(1割負担)	(2割負担)	(3割負担)																																																																																												
《要支援1》	1,793円	3,585円	5,377円																																																																																												
(要支援2/週1回程度)	1,793円	3,585円	5,377円																																																																																												
《要支援2》	3,675円	7,350円	11,025円																																																																																												
加算額																																																																																															
《運動器機能向上加算》	242円	483円	724円																																																																																												
《体制強化》																																																																																															
(要支援1)	26円	52円	78円																																																																																												
(要支援2/週1回程度)	26円	52円	78円																																																																																												
《介護職員処遇改善加算Ⅰ》 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算																																																																																															
《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》 所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算																																																																																															
職員体制	<p>生活相談員5名 (常勤兼務3名、非常勤兼務2名)</p> <p>介護職員14名 (常勤兼務3名、非常勤兼務11名)</p> <p>看護職員4名(非常勤兼務)</p>																																																																																														
契約者数等	<p>【延べ利用者数】 6489名</p> <p>【契約者数】 68名</p>	<p>【延べ利用者数】</p> <p>【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】</p> <p>【契約者数】</p>																																																																																												

令和3年度「二ツ橋地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,223,250	318,220	17,541,470	18,491,082	△ 949,612	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	50,000		50,000	22,750	27,250	
雑入	30,000	0	30,000	11,849	18,151	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0	11,849	△ 11,849	
その他	2,668,415		2,668,415	2,668,415	0	
収入合計	19,971,665	318,220	20,289,885	21,194,096	△ 904,211	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,505,565	0	12,505,565	10,019,961	2,485,604	
本俸	9,579,942		9,579,942	6,977,339	2,602,603	
社会保険料	778,385		778,385	1,113,466	△ 335,081	
手当計	2,060,303		2,060,303	1,848,545	211,758	
健康診断費	10,175		10,175	4,714	5,461	
勤労者福祉共済掛金	6,750		6,750	6,750	0	
退職給付引当金繰入額	68,528		68,528	68,528	0	
その他	1,482		1,482	619	863	
事務費	99,850	0	99,850	3,423,944	△ 3,324,094	
旅費	5,000		5,000	5,822	△ 822	
消耗品費	10,000		10,000	509,485	△ 499,485	
会議随費	0		0	3,960	△ 3,960	
印刷製本費	32,850		32,850	46,770	△ 13,920	
通信費	6,000		6,000	230,530	△ 224,530	
使用料及び賃借料	29,000	0	29,000	21,432	7,568	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	29,000		29,000	21,432	7,568	
備品購入費	0		0	46,860	△ 46,860	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	12,000		12,000	7,841	4,159	
職員等研修費	5,000		5,000	1,990	3,010	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	0		0	0	0	
手数料	0		0	19,800	△ 19,800	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	2,529,454	△ 2,529,454	
事業費	2,617,000	0	2,617,000	71,224	2,545,776	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	505,000		505,000	71,224	433,776	
その他	2,070,000		2,070,000	0	2,070,000	
管理費	3,989,000	0	3,989,000	4,218,377	△ 229,377	
光熱水費	2,154,000		2,154,000	1,943,129	210,871	
清掃費	900,000		900,000	867,375	32,625	
機械警備費	250,000		250,000	228,999	21,001	
設備保全費	614,000	0	614,000	921,303	△ 307,303	
空調衛生設備保守	84,000		84,000	349,171	△ 265,171	
消防設備保守	33,000		33,000	21,841	11,159	
電気設備保守	75,000		75,000	64,566	10,434	
害虫駆除清掃保守	35,000		35,000	24,385	10,615	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	387,000		387,000	461,340	△ 74,340	
共益費	0		0	0	0	
その他	71,000		71,000	257,571	△ 186,571	
修繕費	474,000		474,000	608,607	△ 134,607	予算：指定額
公租公課	80,000	0	80,000	0	80,000	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	75,000		75,000		75,000	
印紙税	5,000		5,000		5,000	
その他	0		0		0	
その他	206,250		206,250		206,250	
支出合計	19,971,665	0	19,971,665	18,342,113	1,629,552	
差引	0	318,220	318,220	2,851,983	△ 2,533,763	

自主事業費 収入	50,000	0	50,000	22,750	27,250	
自主事業費 支出	505,000	0	505,000	71,224	433,776	
自主事業 収支	△ 455,000	0	△ 455,000	△ 48,474	△ 406,526	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「ニッ橋地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,676,000		23,676,000	23,676,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	4,393,000		4,393,000		4,393,000	
収入合計	34,025,000	0	34,025,000	29,632,000	4,393,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,693,250	0	30,693,250	31,153,628	△ 460,378	
本俸	14,521,050		14,521,050	15,312,150	△ 791,100	
社会保険料	2,534,915		2,534,915	4,099,655	△ 1,564,740	
手当計	9,860,086		9,860,086	10,242,646	△ 382,560	
健康診断費	40,379		40,379	44,859	△ 4,480	
勤労者福祉共済掛金	26,250		26,250	26,250	0	
退職給付引当金繰入額	3,708,164		3,708,164	1,425,662	2,282,502	
その他	2,406		2,406	2,406	0	
事務費	149,750	0	149,750	923,310	△ 773,560	
旅費	10,000		10,000	7,754	2,246	
消耗品費	30,000		30,000	30,924	△ 924	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	5,000		5,000	62,700	△ 57,700	
通信費	30,000		30,000	194,454	△ 164,454	
使用料及び賃借料	0	0	0	5,697	△ 5,697	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	5,697	△ 5,697	
備品購入費	35,000		35,000	65,978	△ 30,978	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	1,000		1,000	2,084	△ 1,084	
職員等研修費	5,000		5,000	23,604	△ 18,604	
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	
リース料	32,750		32,750	154,440	△ 121,690	
手数料	0		0	8,250	△ 8,250	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	367,425	△ 367,425	
事業費	1,237,000	0	1,237,000	439,465	797,535	
協力医	630,000		630,000	231,000	399,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	233,000		233,000	44,466	188,534	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,999	1	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000	10,000	210,000	
その他	0		0	0	0	
管理費	1,035,000	0	1,035,000	1,121,332	△ 86,332	
光熱水費	420,000		420,000	516,527	△ 96,527	
清掃費	230,568		230,568	230,568	0	
機械整備費	60,873		60,873	60,873	0	
設備保全費	143,469	0	143,469	244,897	△ 101,428	
空調衛生設備保守	19,544		19,544	92,817	△ 73,273	
消防設備保守	5,805		5,805	5,805	0	
電気設備保守	17,162		17,162	17,162	0	
害虫駆除清掃保守	6,000		6,000	6,481	△ 481	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	94,958		94,958	122,632	△ 27,674	
共益費	0		0	0	0	
その他	180,090		180,090	68,467	111,623	
修繕費	126,000		126,000	161,778	△ 35,778	予算：指定額
公租公課	784,000	0	784,000	0	784,000	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	780,000		780,000		780,000	
印紙税	4,000		4,000		4,000	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	34,025,000	0	34,025,000	33,799,513	225,487	
差引	0	0	0	△ 4,167,513	4,167,513	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	607,000	0	607,000	208,465	398,535	
自主事業 収支	△ 607,000	0	△ 607,000	△ 208,465	△ 398,535	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:ニツ橋地域ケアプラザ

R3年4月1日~R4年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	12,874	12,766	108	19,001	17,904	1,097	66,772	56,639	10,133
	その他	0	0	0	0	0	0	35	13	22
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	35	13	22
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入合計(A)	12,874	12,766	108	19,001	17,904	1,097	66,807	56,652	10,155
支出	人件費	5,464	4,425	1,039	13,793	10,382	3,411	42,482	51,328	-8,846
	事務費	18	14	4	30	39	-9	167	234	-67
	事業費	61	74	-13	513	485	28	14,645	12,779	1,866
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	5,061	6,652	-1,591	200	1	199	6,972	5,972	1,000
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	業務委託費	5,061	6,652	-1,591	200	1	199	6,972	5,972	1,000
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出合計(B)	10,604	11,165	-561	14,536	10,907	3,629	64,266	70,313	-6,047
	収支 (A)-(B)	2,270	1,601	669	4,465	6,997	-2,532	2,541	-13,661	16,202

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	貸館利用説明会	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ利用の団体がお互いの活動を知り、連携し合う場であり、ケアプラザ職員と交流することで活動をより良いものにする趣旨で開催。今年度はコロナ禍の中での活動の指針を伝え活動再開への支援を行う。	5:地域		ケアプラザ利用の団体がお互いの活動を知り、連携し合う場であり、ケアプラザ職員と交流することで活動をより良いものにする。	2	26
2	ボランティア交流会説明会	平成19年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍で自粛しがちな活動の中で自身の介護予防の観点や感染予防を啓発することを目的として開催。	5:地域		コロナ禍での活動の注意点、活動例、再開の指針、活動紹介、アンケートによるアセスメント	3	35
3	男のボランティアとなり組	平成14年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	高齢者世帯への庭木の手入れや家庭で男性ができる範囲のボランティア活動のコーディネート、活動支援をする。	1:高齢者		月1回の定例会、依頼者とボランティアのコーディネート	10	238
4	トーンチャイムボランティア	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	お茶出しのような活動以外のボランティア育成のため実施。比較的手軽に演奏できるトーンチャイムを通じて活動できるため将来的には自主化し、地域活動につなげる	5:地域		ボランティア活動のきっかけづくりとして、誰もが気軽に楽しめるトーンチャイムを通して活躍の場を拡げ、新しいボランティアの横のつながりの場として実施する。	5	34
5	美味しいコーヒーボランティア	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で活動の場が制限されているボランティアの意識向上と継続のため、数回の練習会を行い、コロナが落ち着いたら自主的に活動できる団体になるよう支援を行なう。	5:地域		昨年コロナ禍で活動の休止を余儀なくされたが、将来的自主化を目指し練習の機会を提供し活動が継続できるよう支援する。コロナが落ち着いたら再活動につながる練習会を行なう。(メンバーと話し合い今年度は中止)	0	0
6	サマーチャレンジ小学生福祉講座	平成22年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学生の福祉啓発活動のため、夏休みを利用して、開催。最近では保護者が付添い自分も体験したいとの要望があったので、今年度は保護者も体験することでより多世代に啓発できる事業を開催。	4:子ども・青少年		コロナ禍でも無理なく参加できるよう手話を学ぶ、例年より規模を縮小するが(今までは連続講座)福祉と関わる関係を継続する。	1	14
7	来て！見て！知って！遊ぼう	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区内の未就園児と保護者に遊びの場や参加でき交友できる場を紹介する。	3:養育者及び乳幼児		子育て支援者の活動紹介や子育て世代に遊びを紹介することで、育児の助けになる支援を行うイベントを開催。	1	380
8	親子でぎゅーっとスキンシップ	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	未就園児と保護者の横のつながりを通して孤立しない子育てができるよう瀬谷区内の保育園の先生と共催で、未就園児の遊び方について支援する。	3:養育者及び乳幼児		ふれあい遊び、音楽遊び、手遊び、手作りおもちゃの紹介、相談タイム	1	6
9	ちびっこルーム	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で感染予防のため通常の自由に参加できる子育てサロンの代替として予約制の未就園児と保護者の集いの場を開催する。	3:養育者及び乳幼児		フリースペース。隔月で特別講座開催。お肌のお手入れ講座、ふれあい遊び講座、リトミック等	8	99
10	障害者余暇支援「スタイルF」	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高校を卒業して就労する地域の障害者者が、地域で気が付きにくく、孤立しがちであるとの声を受け、地域住民と様々な経験を話し交流することを目的に開催。	2:障害児・者		ウォーキング、スポーツ体験、手芸、音楽療法等	7	128
11	ニューAgeカフェ	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で外出の機会が減った50～60代へ地域での交流の場を紹介することで、地域の中で居場所が少ない世代がコロナ禍でも新しい生活様式に合わせた交流を通して新しい地域人材の発掘の場として開催する。	1:高齢者		自宅でもできる体操とマスク着用でのカフェタイムとして実施したが11月より「ゆるカフェ」として自主化した。11月からはゆるカフェの後方支援をすることになり終了。	6	58
12	かようの会 元気づくりステーション	平成23年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	元気づくりステーションとして自主活動期の支援。担当エリアにお住いの高齢者が身近に通える場で継続的に介護予防活動を取り組むを提供する。	1:高齢者		【内容】運動、脳トレなど。自主活動が継続できるよう活動内容の支援。介護予防に資する内容の情報提供。 【時期】毎月第1・3火曜	20	231
13	カローリングぐっど 元気づくりステーション	平成25年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	元気づくりステーションとして自主活動期の支援。カローリングを通じて、高齢者の介護予防の拠点づくりと介護予防普及啓発を行う。	1:高齢者		【内容】カローリング、体操、高齢者同士の交流。介護予防に資する内容の情報提供。 【時期】毎月第3月曜、12/27ケアプラザ30周年記念行事でカローリング体験を実施。	12	122
14	GOGO健康づくり教室	平成26年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に介護予防における口腔ケア、栄養、ロコモ予防の重要性を理解してもらい、日常生活に予防的視点を取り入れてもらうことを目的とする。	1:高齢者		【内容】介護予防普及啓発事業として運動、口腔機能向上、栄養改善等を目的に開催。 【時期】随時	1	38

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）				4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	にこにこサロン健康教室	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	瀬谷第四地区地域サロン「にこにこサロン」と共催で介護予防普及啓発を目的に開催する。	1:高齢者		【内容】 介護予防に関する内容を普及啓発する講座を開催。 【時期】年1回	2	55
16	親子でポッチャ大会	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ30周年記念行事として地域の方が参加しやすい事業を開催し、障害者スポーツの理解を深めるとともに地域の住民への感謝を伝える機会とする。	5:地域		4歳から12歳までの地域住民親子2名で対戦。パラリンピック競技であるポッチャを通して多世代交流をする。	1	13
17	コロナに負けない健康のコツ講座	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防普及啓発事業。コロナ禍でも介護予防に取り組めるよう作成した「だれみな通信」の介護予防、運動の内容を学び、学んだ内容を伝えられる人材育成を目指す。	1:高齢者	5	【内容】 「だれみな通信」の介護予防、運動の内容を学び、学んだ内容を伝えられるワークを行う。 【時期】年1回 7月1日	1	16
18	ハッピーダンス	平成29年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	社交ダンスを通じて介護予防に努め、外出の機会、仲間づくりを通して互いに見守りあいでいる自主グループが、コロナ禍で活動を継続し、介護予防活動が推進できるよう支援。	1:高齢者		【内容】 活動内容助言、講師調整、体力測定会 【時期】 4月12日体力測定会12名 6月14日体操7名	3	27
19	太陽の会共催 体力測定会	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防自主グループ「太陽の会」や地域の高齢者が自身の体力を把握し介護予防を取り組む動機付けを行うことを目的とする。また、グループを紹介することで介護予防に資する通いの場への社会参加促進を行う。	1:高齢者		【内容】 体力測定会と効果的な体操 【時期】年1回 11月	1	18
20	介護予防 出前講座	令和2年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民等を対象に、介護予防、暮らしにまつわる情報など、各団体の求めるテーマや課題に応じた介護予防普及啓発を行う。	5:地域	6	【内容】ケアプラザが企画できる講座内容をチラシ提示。住民主体の通いの場や地域の担い手を対象に、テーマに応じた講座をその場に出向き実施する。 【時期】随時	35	568
21	介護者のつどい いっぶくの会	平成20年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者の負担緩和のため介護者やその経験者が交流しながらレスパイトを行い、適切な介護が継続できるよう支援する。	5:地域		介護者に対する情報提供と、介護者同士の情報交換。 隔月に開催。	5	21
22	体操ボランティア「虹の架け橋」	令和3年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	体操ボランティア「虹の架け橋」が地域人材として継続して活躍でき、新たな人材を確保できるよう、H19年区主催リーダー育成講座を実施した区とともに定例会へ参加をしながら活動を支援する。	5:地域	1	【内容】毎月定例会への参加 体操人材育成講座を共催 【時期】 定例会 年11回、人材育成講座 年1回	14	120
23	ここから始めよう講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	CP創立30周年記念事業。心と身体の両面から健康づくり介護予防を考える機会とする講座	1:高齢者		【内容】権利擁護、介護予防の連続講座 【時期】10～12月 連続7回	7	80
24	ゆるカフェ後方支援	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	令和2年度より開催されたニューAgeカフェが自主化したため、継続的になるよう、講師の調整など後方支援を行う。	5:地域		60代の地域交流。月1回の体操とカフェタイム	5	39
25	ハッピーハッピー後方支援	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	自主事業「スタイルF」の卒業後の活動先として自主化した障害者余暇支援。	2:障害児・者		障害のある方と地域住民がゆるやかにつながり、当事者が自主的にために余暇活動を開催する	4	37
26	30周年記念誌発行配布	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザ30周年の歴史を振り返り、地域住民への感謝を伝えると共に、ケアプラザに普段来所しない人にケアプラザを周知する。また貸館利用団体やボランティア、デイ利用者の作品やインタビューを載せる等、活動への意識向上を図る。	5:地域		30年間の歴史を振り返り、関係者への聞き取り、地域の方からのご挨拶、インタビュー、過去の事業の紹介などを通し、地域の方にケアプラザを応援していただき、地域の方へケアプラザを知ってもらうよう27ページの冊子を700部発行。	1	700
27	30周年感謝週間 展示発表	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザの貸館利用団体、及びボランティアの活動を展示で発表することで、地域の方がどの曜日、時間でも活動できるよう活動の発表を紙面や作品などを発表し、活動団体の意識向上を図るとともに活動団体を地域の方にとって活性化につなげる。	5:地域		貸館利用団体、ボランティア団体15組による展示。説明員。	15	387

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
28	感謝週間活動発表	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	普段活動の発表機会の少ない貸館利用団体の活動への意欲を高め、持続的な活動とあなるよう、発表の機会を提供。	5:地域		貸館利用団体による踊り、演奏、資料による活動の説明など。	11	211
29	よこはまシニアボランティアポイント講座	令和3年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	よこはまシニアボランティア講習会開催を通じ、ボランティア活動や地域活動を始めのきっかけづくりを目的に行う。 また本講習会は横浜市内で行われており、会場が遠方のため講習会に参加が難しいことや瀬谷区公会堂実施時には定員になることなど登録が叶わない例があるため、身近なケアプラザで開催し、気軽に登録できる機会をつくることも目的とする。	5:地域		【内容】 (1)よこはまシニアボランティアポイントの概要について[講義] (2)ボランティアとは[講義] (3)ボランティア初心者向け説明会 【時期】 10月	1	8
30	聴きじょうずのキホン	令和3年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ボランティア活動に興味のある方またはこれから始めたい方を対象に、今後の活動で活用できる「傾聴」の基本を学ぶ機会を設ける。参加者が活動で成功体験を増やし社会参加のモチベーションを向上させることを図る。またケアプラザのボランティア登録や活動場所の紹介から、活動への定着化を図る。	5:地域		【内容】 (1)講座「傾聴の基本」講師：傾聴グループえがお (2)活動先紹介(CP・区社協ボランティア登録[区社協より]、活動相談の案内) (3)その他お知らせ (4)シニアボランティアポイント登録書授与式 ※10月6日(木)開催「よこはまシニアボランティア講習会」参加者のみ対象 【時期】 10月	1	16
31	LINEのキホンと活用術	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域活動の担い手やボランティアがLINEを活用するスキルを習得することで、担い手や利用者間のコミュニケーション円滑化やICTリテラシーの向上を目的とする。	5:地域		【内容】 (1)第1回 LINEの基本操作 (2)第2回 活動で使えるLINE活用術 【時期】 11月	2	23
32	音の広場コンサート	令和3年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域のなかで集う場を提供することで多世代交流の機会を創出する。ケアプラザに普段来ない方に対しケアプラザの周知を図る。コロナ禍で外出の機会が減った住民の楽しみを提供し集うことの大切さを感じてもらおう。	5:地域		マンダリンコンサート。ケアプラザ周知。	1	28